

1/6 五



# 紙の保険証残せ

## オール近畿アクション

「保険証残せ」「社会保障の充実で、いのち・暮らし守ろう」と近畿2府4県の市民が集う「オール近畿アクション2023」が5日、大阪市の難波御堂筋ホールであり、300人が参加しました。

集会後に御堂筋でプラカードを手にスタンディングアピールしました。

手をつき上げ決意を固め合う参加者

1月5日、大阪市・難波御堂筋ホール

兵庫県保険医協会の西山裕理事長が基調報告で「利用者が5%以下しかいないマイナ

ショーン2023」が5日、大阪市の難波御堂筋ホールであり、300人が参加しました。集会後に御堂筋でプラカードを手にスタンディングアピールしました。

一部の大企業の利益のために私たちの医療健康情報を渡すこと」と指摘。「社会保障充実、政治の抜本転換へ市民と野党の共闘が必要」と話しました。

大阪府保険医協会の宇都富健弘理事長があ

りさつし「大軍拡やカジノ・万博でなく社会保障充実を」と訴え。各民主団体がメッセージを寄せました。

「保険証残せ」「社

会保険制度の原理・原

則の破壊は民間営利の保険商品化の道だ」と警鐘を鳴らしました。

・労働・障害者・介護など各地域・分野から運動と実態が報告され

ました。日本共産党的富本だけし衆院議員が「共に全力で頑張りま

す」とあいさつ。倉林明子、山下芳生の両副委員長・参院議員、立憲民主党の国會議員、

全国保険医団体連合会